

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・－

実施日: 令和3 年 1 月 31日

スタッフ氏名		市毛	友理	長澤	小川	田口	コメント
環境整備・体制整備							
1	利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○	○	△	○	○	児童の年齢や活動内容、利用人数によっては狭く感じることもあるので、外や体育館で思いきり体を動かせる機会を設けている
2	職員の配置数は適切であるか	○	○	○	○	○	パート職員の手もあるので、児童のサポートがしっかりと出来ている
3	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○	○	○	○	段差はなく、トイレ内も広く手すりがついており、車いすの児童も問題なく利用出来ている
業務内容							
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	○	○	○	○	毎朝の朝礼の時間を使って全職員が参画出来ている
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○	○	○	○	○	項目数の多い独自のアンケートを用い、保護者の意向を集め、改善につなげている。
6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	○	○	○	○	ホームページで公開している他、事業所内に掲示している
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○	○	○	○	フランチャイズ本部による評価を参考にしている
8	職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○	○	○	○	○	今年度はコロナの影響で自粛となってしまったものが多かったが、フランチャイズ本部による定期的な研修の他、県や民間団体による研修にも積極的に参加している
適切な支援の提供							
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	○	○	保護者のお迎えの際に毎回情報共有している他、各児童の日々の様子を記録し計画を立てている(市)
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	△	○	○	○	独自に開発されたアセスメントツールを導入しているが、児童の発達に合わせ実施の頻度をあげる必要性を感じている
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	○	○	○	毎朝の朝礼や、月に一度の全体会議の場で、職員全員で話し合い共有し立案出来ている
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○	○	○	○	フランチャイズ本部からの教材を活用している他、職員全員で案を出し合い、様々な取り組みが出来るよう工夫している
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○	○	○	○	取り組み内容に応じて課題や支援内容を工夫している
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	○	○	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	○	○	○	毎朝の朝礼の時間を利用して打ち合わせ出来ている

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・－

実施日: 令和3年1月31日

スタッフ氏名	市毛	友理	長澤	小川	田口		コメント
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○	△	○	○	○		就業時間の関係で、支援終了後の振り返りは難しいことがあるが、必ず独自のシステム上の日誌を通して情報共有をし、次の日の朝の朝礼で振り返り、情報共有をしている
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	○	○	○		記録の付け方に対してもしっかりと研修指導がなされ、独自のシステムを使用して正しく記録出来ている
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	○	○	○		日々の直接支援、記録、保護者との連携を通して随時計画書の見直しが出来ている
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○	○	○	○	○		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	○	○	○		
21 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生連絡）を適切に行っているか	○	○	○	○	○		日々の学校までのお迎えの際に情報共有出来ている
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	△	△	△	△		医療的ケアを必要とする児童は少ないが、保護者を通しての連絡体制となってしまうケースが多い
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	△	△	△	△		保護者を通しての連携となってしまうケースが多い
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○	○	○	○	○		
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	△	△	△	△		情報の提供はしているが、コロナの影響があり研修参加は自粛している
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	△	△	△	△		
27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	△	△	△	△	△		
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	○	○	○		お迎えの際に毎回情報の共有が出来ている
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○	△	○	△	△		個々のご相談に対しての対応は出来ているが、全体に対しての講習会等は開催出来ていない
保護者への説明責任等							
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	○	○	○		体験やご契約の際に丁寧に説明している他、お問合せや変更点に関しては随時対応している
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	○	○	○		
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	×	×	×	×		コロナの影響があり、今年度は一度も保護者参加型のイベント等催せていない

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・－

実施日： 令和3 年 1 月 31日

スタッフ氏名		市毛	友理	長澤	小川	田口		コメント
33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	○	○	○		
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○	○	○	○		利用者個々の月次振り返りの他、通信を毎月配信している
35	個人情報に十分注意しているか	○	○	○	○	○		職員全員の共通認識として個人情報の取扱は慎重に行っている
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	△	○	○	○		集団でのお預かりとなる為、疎通や伝達への配慮が難しいことがある
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	×	×	×	×	×		コロナの影響があり、今年度は一度も地域住民参加型のイベント等催せていない
非常時等の対応								
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	△	○	○	○	△		マニュアルは策定されているが、全ての保護者に十分な周知が出来ていないわけではない
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○	○	○	○		
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○	○	○	○	○		
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	△	△	△	△	△		身体拘束が必要になる対象児童がいないが、危険な状況下においては安全面を優先するという説明了解は得ている
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○	○	○	○		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○	○	○	○		